

ワケ カタチには理由がある(118)

Shape follows Function
& Taste

～デ・ハビランド(DH) シーバンパイア(Sea Vampire)T.22



(シーフューリーと。同時代の機体ですが、レシプロ戦闘機よりも小ぶりであつた↓)



本機シーバンパイア T.22 は、英国空軍型の T.11 を海軍仕様とした練習機です。ジェットエンジンを発明した英国らしく、バンパイアの原型は 1943 年 9 月には初飛行しています。終戦直後の 1945 年 12 月に単座型が早くも空母オーシャンへの着艦に成功し、「空母に着艦した世界初のジェット機」という栄誉を受けています。もっとも、本機は地上の飛行訓練基地で使用されたため着艦フックは取り付けられていません。バンパイアはとてもコンパクトな機体で、サイドバイサイドの複座としたため、そのコクピットは窮屈そうです。実際、ニュージーランドの航空博物館で来館者が座ることのできる機首の展示を見ましたが、「体格の良い方は出られなくなるので、注意してください」との案内書きがありました(ホントの話)。なお、この機体は、航空自衛隊も参考に購入したため、航空自衛隊浜松広報館にも展示されています(輸出型の T.55)。なお、『サンダーバード』第 1 話にファイアーフラッシュ号の救助に向かうツインブーム機が登場しますが、シーブルー／白の塗装を含めて本機によく似ています。案外、この機体が元ネタかもしれません。

【模型について】

(ニュージーランド空軍博物館に展示されている T.11 (撮影筆者)→)



エアフィックス(Airfix)の 1/72 のキットです。バンパイア T.11 をそのまま組みましたが、凹モールドが太すぎるきらいはありますが、簡単に組める好キットです。本キットは空自の使用機を模型で全て揃えるぞ! というモデラーにも外せないキットともなっています。(中川裕幸 2025 年 5 月)